

公益財団法人かすがい市民文化財団広報誌

FORUM PRESS

春日井の“毎日”を、もっと楽しく！



Contents

文化や芸術の情報をお届け！

2022.10-12月

- ◆あなたにとって 最も身近な作品 それは自分自身かもー
- ◆災いが降りかかる時だから寄り添うように音楽を届けたい アン・サリーインタビュー

VOL. 108



あなたにとって
最も身近な作品
それは自分自身かもー

写真家・浅田政志さんの展覧会にあわせて、春日井市内で5家族の新作を撮影しました。
この写真は、その際のワンカット。被写体にカメラを向けるだけではありません。
特別な時間を写真家と一緒に楽しめます。撮影日は“記念日”なのです。

写真家 浅田政志さんと
俳優・演出家 有門正太郎さんが描く
“あなたらしさ”

01 特集

あなたにとって 最も身近な作品 それは自分自身かもー

写真家 浅田政志さんと俳優・演出家 有門正太郎さんが描く“あなたらしさ”

取材・テキスト＝三宅 有

FORUM PRESSは
みんなの笑顔が
あふれる広場
のような広報誌を目指します。

05 特集

災いが降りかかる時だから 寄り添うように音楽を届けたい アン・サリー インタビュー

取材・テキスト＝三宅 有

08

子どもと楽しむ! KIDS★PRESS 08

〔今回のテーマ〕ステンドグラス風ランタン

今号の先生＝田口友里衣(ガラス造形作家)

10

FORUM PRESS LIBRARY

かすがい市民文化財団プロデューサーのおススメ本を紹介

11

聴き書き自分史 “もの”語り 大切なもの、教えてください。

アンジェロ・アクィリーニさんのアコーディオン「黒金」

取材・テキスト＝芳賀倫子(日本自分史センター相談員) / 語り手＝アンジェロ・アクィリーニ(アコーディオン奏者)

12

わたしのアトリエ

第71回春日井市民美術展覧会の作品紹介

日本画部門 財団理事長賞 棚橋 文代さん

書部門 市長賞 長谷川由記子さん

14

体験レポート かすがい文化フェスティバル2022

フルート奏者の林里紗さんが“文フェス”をレポート!

15

インフォメーション

16

あの人と、春日井と

上山 明子 / 乾漆彫刻家

春日井に何かしら縁のあるアーティストを紹介しています。

取材・テキスト＝三宅 有

今号の表紙



〔モデル〕

上山 明子 / 乾漆彫刻家

〔撮影〕

藤井 昌美 / 写真家

INTERVIEW

俳優・演出家 有門正太郎さんが演出する
あなたの
日常
演劇
×
自分史



INTERVIEW

写真家 浅田政志さんが撮る
あなたの
家族
写真
×
自分史



一人の視点から見た家族

これまで家族全員を被写体としていました
が、最新作『私の家族』の被写体は一人です。
一人の人が見た心の中の家族観を、写真に表
現したいと思って。家族や自身のお話を聞か
せてもらい、人生で感じた心の“ひだ”のよ
うなものを一緒に探しながらイメージを作り
ます。そうやって撮った1枚のメイン写真と
複数のサブ写真に、ご自身の言葉で書いた文
章を添えてもらいます。

春日井で初披露する作品として、5人の方
を撮影しました。麻生さんは、車いすで生活
されています。ご家族がサポートしていて、
雰囲気は温かい。こんな家族に囲まれてニコ
ニコできたら最高だと思いました。

エジプトから来たハニーさんは、日本で子
育てをしています。コロナ禍で帰国できず、
遠く離れた母国の家族と日本の家族の間で心
苦しさを抱きながら頑張っているらしい。其
他の皆さんも素敵で、出会えて感謝です。

大切な写真ってどんなもの？

写真が生まれた昔から、カメラを手にして
最初に撮るのは大切な人、自分や家族でした。
プライベートな写真だから、第三者は興味を

持たない。撮った本人ですら、アルバムを見
返すこともないかもしれません。でも、自分
が置かれた状況で写真の見え方が変わります。

写真は鏡のようなもの

東日本大震災の写真洗浄ボランティアで想
像を絶する状況の中、写真を探しに来る方、
見つけて涙ぐむ方がいて、写真には普段眠っ
ている力があることを教えてもらいました。
たとえ他人のために撮っていない“なにげな
い”写真でも、時として芸術としての写真よ
り深く心に迫ってくるのです。プロの写真家
が我が子の写真集を出版しないのは、見た人
が何かを考えたり、気づきがないから。でも、
写真家にとって意味がないわけじゃない。“写
真は鏡”と言われる
一因がそこにあるか
もしれません。

春日井に日本自分
史センターがあると
いうことは、人の物
語に耳を傾けてくれ
る日本一の街だと思
います。そこで写真
を展示できるのが本
当に楽しみです



生きてること自体が自分史

自分史や演劇って、言葉のイメージから自
分からは遠い存在だと思う方が多いようです
が、SNSやTwitter、日記、全部、自分史です。
生きてること、それ自体がすでに演技してい
るようなもの。自分の人生は自分が主役です
から。

第4弾として1月に開催する今回の「演劇
×自分史」は、手に持った台本を朗読するリー
ディングスタイルの予定です。何人かで座っ
て過去の自分史を読むことをイメージしてい
ましたが、読むだけじゃつまらないし、動き
がないと楽しくない。どうすれば演者が楽し
くて、見ている人が面白くなるのか迷ってい
ました。でも、一般市民として参加してくれ
る25人の皆さんの前向きな顔が、「自分史を
ベースに、しっかり台本を書こう！」と思わ
せてくれました。

本番より稽古がすごい！

顔合わせとなった9月のワークショップで
は、自己紹介も兼ねて参加者自身のことを話
してもらいました。皆さんがすごく話したがっ
ているのが伝わってきました。どんな演劇の
プログラムより、“話す”ことが皆さんには

一番良いかもしれません。人とつながること
や新しい出会いが難しいご時世ですが、距離
感がここでは絶妙なんです。「本番じゃなくて
稽古見に来てよ」って思うくらい。

すごいエピソードをどう引き出すか

自分史は、自慢史になつてはダメ。「人に言
えない」「墓場まで持っていこう」と思うエビ
ソードほど共感を呼ぶ力があります。

作品を作る時、僕が皆さんの話を聞きます
が、どんな物語よりも、その人ご自身が面白
いんです。そのエピソードをもとに、僕が料
理人として美味しい料理に仕上げる感じ。演
者の皆さんでいえば、稽古を重ねて、深く感
情移入しながらも客観性のある演技を目指し
ていきます。

「自分史」という
言葉にとらわれず、
「文字を読むことを
楽しむ」がコンセプ
ト。自分の事を楽し
そうに話す顔、舞台
に乗せたいけど、ど
うやったらかかるか
な〜ってことばかり
考えています。





透明感のある優しい歌声で、木漏れ日のように温かく、やわらかく心を包み込むアン・サリーさん。子どもの頃から足しげく通った春日井での公演を前に、「歌手」「医師」「母親」として見てきたコロナ禍での社会の変化と歌を歌い続ける思い、春日井の思い出などを語ってくれました。

災いが
降りかかる
時だから
寄り添うように
音楽を届けたい

「自分史」に興味がわいてきたら...

写真展に行ってみる

浅田政志写真展

Life Stories



コロナ禍で2020年に開催予定だった写真展が延期。2年の時を経て、浅田政志さんの写真展を開催します。当時予定していた展覧会とは異なり、浅田さんの新たなシリーズが生まれました。春日井で4都市目のお披露目となるシリーズは、その名も「私の家族」。今回は春日井にゆかりのある5家族を撮影し、展示します。多様な家族のかたちが模索される現在だからこそ、写真を通して、あなた自身の人生の物語に想いを馳せてみませんか。



浅田政志写真展「Life Stories」

2022 11.26(土) - 12.18(日)

@文化フォーラム春日井・ギャラリー

10:00-17:00 最終入場16:30 / 月曜休館

- 一般 ¥500
- PiPi会員 ... ¥400
- U-25 ¥300
- 高校生以下、障がい者及び介護者(付添人) 入場無料

※前売券はございません

詳しくはコチラ

公演を観てみる

演劇×自分史

リーディング公演

「演劇をつかって自分史で遊ぶ!」をキーワードに、市民とともに「自分史」の魅力を再発見する「演劇×自分史」プロジェクト。2016年からスタートし、第1弾・第2弾では10〜70代までの参加者が、自身の自分史をつなぎあわせた作品を発表しました。第3弾公演「春よ恋」は、新型コロナウイルスの影響で発表直前に公演中止となり、オンラインでの映像公開へ。2年ほどストップした演劇×自分史ですが、掌編自分史を軸とした新たな装いで再スタートしています。



演劇×自分史「リーディング公演」

2023 1.14(土)

@文化フォーラム春日井



詳しくはコチラ

その他あれこれ

春日井市の取り組み

春日井市は、「市民が主体となった文化芸術活動」を推進しようと、自治体として初の「日本自分史センター」を開設。全国から集まった自分史を無料で閲覧・貸出しているほか、自分史相談や文章講座、サークル活動支援、掌編自分史全国公募などの事業を展開しています。

日本自分史センター

@文化フォーラム春日井2F

自分史についてのあらゆるご相談に専門家が無料対応(要予約)。全国から寄せられた自分史図書約8,000タイトルを貸し出しています。



掌編自分史作品全国公募

掌編とは、手のひらにのるような短い作品のこと。毎年異なるテーマで短編の自分史を募集しています(今年はすでに締切しました)。優秀作品をまとめた作品集を3月ごろに発行予定です。



子どもの頃から見てきた春日井が 歌の大切さを教えてくれた

―アンさんは春日井と、とても深いかわりがあるんですね。

母の実家がJR春日井駅の近くで、父は市民病院に長く勤務したあと、市内で小児科クリニックをしていました。子どもの頃から夏休みやお正月などは必ず行っていました。聞いた話ですが、「昔は駅前に馬がいた!」とか。春日井の町並みの変わり様をみて、時代の流れを実感するほど、馴染みのある街です。

―これまでに二度、春日井で公演されていますが、2011年の東日本大震災直後のライブは大変でしたね。

ギーは水面下でふつふつと
していて、“表現したい”
という思いはとても強いです。

逆境から芽吹く

新しいカタチ

―医師としてコロナと最前線
で関わってきたアンさん
ですが、この2年余りを振り
返って、どんな思いを持っ
ていますか。

コロナに対して、誰も答え
を持っていない状況でしたか
ら、知恵を持ち寄って対処
しなきゃならないのに、社
会全体として、なかなかで
きないことに歯がゆさを感じ
ました。人間の力では及
ばないことがあることもあ
らためて思い知り、謙虚で
あるべきだとも感じました。

―音楽の世界ではどんなこ
とが起きていたでしょうか。
自由にライブができなくて
難しい状況になりましたが、



オンラインを巧みに取り入
れた新たな演奏志向の若い
ミュージシャンたちが生ま
れるなど、逆境をチャンスに
変える動きが盛んです。医
療も音楽も人間の技能と知
恵の結晶ですし、医療の世
界でもみんな必死に頑張っ
ていますから、音楽のよう
に前向きな“良い変化”が
生まれるといいですね。

―ご自身やご家族は、どん
な時間を過ごしてきたので
しょう？

家族が一緒にいる時間が
増えました。振り返って
特別な記憶がないのは平穩
な時を過ごせたんだと思ひ
ます。私は…、スマホに替
えたことです(笑)。演奏活
動が減って時間ができた分、

歌の練習やコンディショ
ン維持に費やす時間も増え
ました。一日一万歩を目標に
歩いて体幹を鍛えたり…。
普段、患者さんに運動や食
生活のアドバイスをしてい
るので、私が不摂生してい
ら説得力ないですしね。で
も、練習し過ぎて声をから
してしまつて…。「何事も
ほどほどに」と、身をもつて
お伝えできます(笑)。

いつどんなときでも
生演奏を体現できる
演奏家でいたい

―春日井公演が開かれる12
月3日はレコードの日。こ
のリリースされる「はじ
まりのとき」など3タイ
ルの2枚組レコードの制作

では苦労もあったのでは？

スタジオに集まらないの
で、演奏と歌を遠隔で録り
ました。「かぞくのじかん」
という曲は始めと終わりが
ルバート(テンポを揺らす)
なので、歌を軸にして演奏
を合わせるという新しい方
法を楽しみながら作りまし
た。新しい技術や歌唱法の
面白い部分は取り入れなが
ら、「常々、生の演奏を体現
できる演奏家でありたい」
とも思っています。古い人
間”なのかもしれませんね。
ジャケットは厚紙のゲート
ホールド(見開き)になつ
ています。

―春日井のお客様にメッ
セージを。

フィンランドの女性4人

地震発生後の2週間後でし
た。震災関連のニュースが
あふれている時で、音楽な
んて不謹慎という思いもあ
りました。が、演奏しながら、
カラカラに乾いた大地に水
が勢いよく染み込むように、
みんなの顔が喜びで満ちて
いくのが分かりました。「い
ま足りないのは、こういう
ものなんだ」と教えてもらっ
た気がして。あらためて、「こ
んな時、音楽がなくなつて
はいけない」と意を強くし
ました。

―今回も、コロナ禍という
大きな苦難のなか、どこか
当時と似たような状況での
公演となります。

演奏家たちは公演中止な
ど、コロナの波に翻弄され
ていますから、演奏の機会
を得た時の熱量はすごいで
す。私は声を張り上げてダ
イナミックに歌うスタイル
ではありませんが、エネ

フォーク・グループ「カル
デミンミット」さんと初め
て共演するので、私自身、
ワクワクしています。春日
井には、たくさん知人・
友人・親類縁者がいますか
ら、里帰りのような温かい
気持ちに包まれて、リラッ
クスしながら気合も入つて
ます。クリスマスも近いの
で、ぜひ、ご家族そろって
楽しんでほしいと思います。

公演情報

アン・サリー&カルデミンミット
～北欧のクリスマス支度～

2022.12.3(土) 14:00開演
@春日井市東部市民センター



公演詳細はコチラ

子どもと楽しむ!

KIDS★PRESS 08

／ 今月のテーマ ／

ステンドグラス風 ランタン

3. ケイム[※]を引こう

※ステンドグラスの縁取りの黒い線

内側の絵の具が全体に広がったら、ガラスの外側に黒い絵の具でケイムを引きます。好きな絵や模様を描いてください。ケイムが乾いた後につまようじなどを使ってはみ出た部分を修正できますが、**力を入れ過ぎてケイムを切らないように注意**しましょう。すべての絵の具が乾いたら、LEDライトを中に入れて点灯します。



ガラス取り扱い注意!

安定した台の上などに置いて楽しみましょう。

クリスマスツリーなどに吊り下げる場合は、ガラスドームの上部に紐をつけます。コルクは落ちないようにテープなどで固定しましょう。



田口先生からのアドバイス

作業をする時は、窓を開けるなどしっかりと換気しながらやってください。絵の具が動くスピードはとてもゆっくりです。温度や湿度の具合で完全に乾くまで2~3日かかることも。その間は変化し続けますから、目が覚めて見ると驚くこともあります。着彩しなかった部分は後から追加で着彩できます。

完成!!

／ 田口先生が講師! ／



文化フォーラム春日井の屋上庭園
スカイフォーラムを飾る
クリスマスランタンを作るワークショップ

みんなでスカイフォーラムの
クリスマス飾ろう!

2022.11.27(日)
14:00~15:30

@文化フォーラム春日井・交流アトリウム

詳細はHPへ



これからの季節、クリスマスなどでお家を飾る機会も増えます。そこで今回は、インテリアとしても使えるステンドグラス風ランタンを紹介。出来上りをイメージしながらの彩色はワクワク感いっぱい! 光を灯せば、クリスマスを温かく彩ります。



今号の先生

田口友里衣

蒲郡市在住 / ガラス造形作家

作家HP



教室HP



用意するもの

※すべて100円ショップで手に入ります。



- ガラス絵の具
赤系・黄系・青系の3色中、2色あればできます。
黒色は外側に線を描きます。
- ガラスドーム(コルク付)
- LEDキャンドルライト

1. 絵の具を塗ろう

ガラス内側に沿って絵の具を塗ります。それぞれ横1~2cm、縦5~8mm程度にしてください。ゆっくりと垂れていくので、様子を見ながら彩色していきます。

注意!

初めての人は2色でやるときれいにできます。3色を使う場合、絵の具の量は少なめにしてください。多いと濁色する場合があります。



2. 絵の具を混ぜよう

立てる・横にする・回す...などして、絵の具を混ぜます。絵の具はとてもゆっくり動きます。ある程度混ざったら、粘土などで固定して、時々向きを変えてください。



“もの”語り

#08



アコーディオン 「黒金」

取材・テキスト
芳賀 倫子（日本自分史センター相談員）



語り手
アンジェロ・アクイリーニ
（アコーディオン奏者）

聴き書き自分史
とは？

語り手の話に耳を傾け、
本人に代わって書く自分史です。

芳賀先生の自分史相談

無料 要予約



毎週火曜日 13:00～17:00
文化フォーラム春日井にて

私はイタリアのピエモンテ州に生まれました。幼い頃より音楽に興味がありましたが、8歳の頃、バカンスで訪れたリグーリア海岸で街を歩いていたら、面白い音色が。窓の中を覗くと、50歳ぐらいの女性が手招きしています。彼女が奏でていたアコーディオンに触らせてもらい、その音色の虜に。10歳の時には、父が、有名なアコーディオンメーカーのコーペルフィサに鍵盤がコンパクトなものを特注。子どもに本物を与えてくれたのです。16歳の時にコンクールで優勝し、アコーディオン奏者として活動を始めました。2001年に初来日。名古屋市のイタリア村でアコーディオン奏者をしていましたが、イタリア村は閉鎖に。悲嘆に暮れましたが「悪いことというのは、すべてが悪いのではなく、良いこともある」というイタリアの言葉を思い出し、前を向きました。実際、楽器のメンテナンスでは日本一の職人、中山邦雄さんと知り合い、日本での活動の拠点を名古屋・金山に置くことが出来ました。大切な『黒金（くろきん）』は、日本が大好きなので、黒い瓦をイメージし金を入れてデザインして貰ったもの。17年愛用している私の片腕でもあります。

アンジェロさんが出演 イタリアの街角のクリスマス・コンサート
夜コン 2022.12.2(金)19:00～ @文化フォーラム春日井・交流アトリウム

FORUM PRESS LIBRARY

フォーラムプレス
ライブラリー

文化フォーラム春日井で読めます!!

かすが市民文化財団プロデューサーのおススメ本を紹介

プロデューサー小松淳子の このマンガを読め!!



男性大人バレエの実態がわかる?!

男性が主人公のバレエ漫画は『ダンス・ダンス・ダンスール』という現在アニメ化もされている作品がありますが、そちらは中学生が主人公、こちらは35歳でバレエ経験も無い普通の会社員という異色の漫画です。

体力不足に悩む小日向瞳は、偶然出会ったバレエ教室の体験レッスンを受けたところ、運動したという充実感に満たされます。しかし、翌日に襲い来る全身の筋肉痛…。年齢を嫌でも自覚させられますが、いつか「パ・ド・ドゥ」を踊りたいという熱意でバレエを続けることに。男性のタイツやサポーターの話から、女性ダンサーをサポートする難しさまで、男性からの視点が新鮮! プロを目指すわけではない大人のお稽古バレエの描き方に注目です。

会社帰りの パ・ド・ドゥ



瀬田ハルヒ／講談社

すべて、ころんで、 さあタンゴ!



芳賀倫子／風媒社
2020年初版

プロデューサー山川愛の 自分史「この一冊」



文章と人柄

「日本自分史センター」の「相談員」って、どんな人だろうと思いませんか？

自分史をまとめたいと来館される方は、背景もご意向もまちまち。自分や家族のことを書き留めておきたい方、逝去した家族のことを涙ながらにお話に来る方など、様々です。そんな人たちの相談やお話に耳を傾けるプロは、些細なことから大きなことまで、人生をめいっぱい楽しむ達人。その手練れが約30年にわたって書き綴ったエッセイを60篇に絞ってまとめたのが、本書です。

「やさしい」文章がモットーの芳賀先生だからこそ、どのエッセイも共感ポイント満載。くすっと笑えて、ちくっと痛い感じも、お人柄そのもの。その「お茶目さ」も文章に色濃く滲んでいます。

第72回市民美術展覧会は、来年7月作品募集、8月展示予定です。
詳細は、4月頃、発表予定。財団HPなどでご覧いただけます。



わたしの
アトリエ

第71回春日井市民美術展覧会の作品紹介



日本画部門 財団理事長賞

ひつじが一匹…

FUMIYO TANAHASHI



棚橋 文代

たなはし ふみよ

しばらく遠ざかっていた描画を
今回の市民展を機に再開した。
春日井市在住。

「家族の病気や親の介護、自分の心臓の手術などで長い間、描けなかったので、出せただけで幸せ。なのに、受賞なんて」と棚橋さん。18年ぶりの出品で、次席にあたる財団理事長賞を受賞しました。モデルは、グリーンピア春日井の羊。「モフモフでかわいくて。淡々と命を全うする姿に、自分の願い、祈りにも似た思いを重ねました。顔を浮き立たせながら表情が生々しくならないように描いたので、羊の様な…人の様な…『仏像みたい』と言う人も。後ろに夜空の星を配して、宵の落ち着きとやすらぎも表した」そうです。

「心臓の手術では、死を意識しました。同時に、生々に感謝し、心を込めた作品を残したいとも思いました。発表の場は作り手にとって励み、受賞の喜びは次作へのエネルギーになります。これからも自然体で描き続けられたら」と願っています。



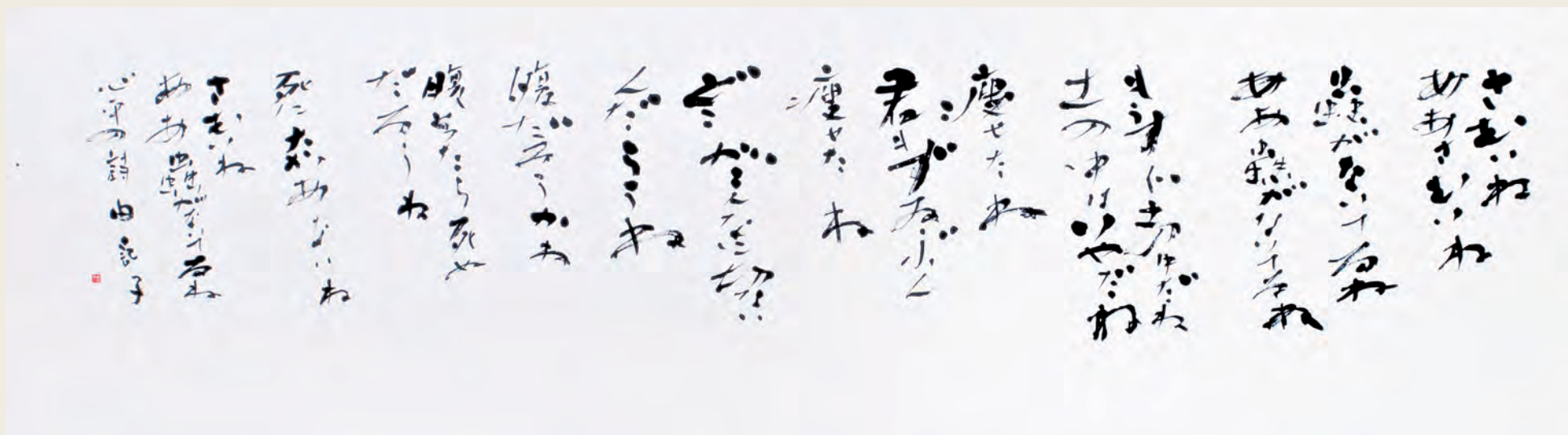
長谷川 由記子

はせがわ ゆきこ

市民展には
今年、初めて出品した。
春日井市在住。

初出品で市長賞に輝いた長谷川さん。「私が受賞しているのでしょうか。実感がわきません」と困惑しています。「歳を取ってもやれること」として、7年前に軽い気持ちで始めたのですが、やるほどに奥が深くて」と書の玄奥さを実感しています。受賞作「秋の夜の会話」は冬眠前のカエルの会話を綴っています。「土の中はいやだね」とか「切ないね」など、どこか寂しい感じの内容です。

が、あえてコミカルに楽しく書こうと。行末に14回でてくる「ね」の形をすべて変えたり、濃淡を点在させたり、行を傾けるなどして、文字がワイワイ遊んでいる雰囲気を出しました」筆を執る時はジャズやヒーリング音楽を聴きながら。好きな言葉を書いてインテリア的に部屋に飾ることも。「達筆じゃなくてもいいんです。楽しみながら続けていきたい」と、奔放に書と向き合っています。



書部門 市長賞

秋の夜の
会話

YUKIKO HASEGAWA

今年度の春日井市民美術展覧会（2022年8月20日～28日）では、日本画・洋画・書・彫塑工芸・写真の5部門に629点の応募がありました。毎回、幅広い世代から力作が寄せられ、多くの方に親しまれています。



井草聖二 「ギター1本で広がる世界」

昼コン&夜コンで大人気のギタリストが、単独でワンコインコンサートを開催します。巧みな技法により、ギター1本とは思えないほどの多彩な魅力をお届けします。

2022.11.25(金) 19:00~
@春日井市民会館



©Akira Muto

若林顕 ピアノ・リサイタル

技巧とカリスマを備えた日本屈指の本格ヴィルトゥオーゾ・ピアニストが春日井に登場します。ピアノの魅力全開! リスト「愛の夢」、ショパン「舟歌」ほか、豪華絢爛、壮大なプログラムです。

2022.11.27(日) 14:00~
@春日井市東部市民センター



2022 春日井市民第九演奏会

今年も第九の季節がやってきました。市民から公募し、この日のために結成された第九合唱団と春日井市交響楽団による市民手作りの演奏会です。本番にむけて日々練習を重ねています。

2022.12.4(日) 15:00~
@春日井市民会館



24th かすがい 人形劇フェスティバル

親子で人形劇を楽しめるフェスティバルです。プロ・アマチュアの人形劇団によって異なる、人形の可愛さやストーリーの奥深さを味わえます。

2022.12.11(日)
[午前の部] 10:00~
[午後の部] 14:00~
@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール



とっておきの クリスマスコンサート 2022

春日井児童合唱団による毎年恒例のクリスマスコンサートです。ジュニア組・シニア組の子どもたちとOB・OGが参加し、アトリウムに歌声が響き渡ります。ほっこりと温かい気持ちのプレゼントが届くステージです。

2022.12.24(土) 17:30~
@文化フォーラム春日井・交流アトリウム



©2020 VENDOME PICTURES LLC, PATHE FILMS

かすがい日曜シネマ 「コーダ あいのうた」

家族の中でたったひとり健聴者である高校生ルビーは、「歌うこと」を夢みるようになりました。家族と夢の狭間で揺れながらも懸命に生きる少女の姿が描かれます。本年度アカデミー賞受賞作品です。

2022.12.25(日) 13:30~
@春日井市東部市民センター
2023.1.15(日) ①10:15~②13:30~
@文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

読者アンケート

今回の「広報誌FORUM PRESS」はいかがでしたか? 感想やご意見をお寄せください。回答はQRコードから。抽選でプレゼントもお届けします。回答の締め切り: 2022.11.17(木)



今回のプレゼント

アン・サリー&カルデミンミット~北欧のクリスマス支度~(12/3(土)14:00~@春日井市東部市民センター)のチケットを1組2名様にプレゼントします! プレゼント不要の方も、ご回答いただけるようになっております。



編集後記

アンジェロさん愛用のアコーディオン「黒金」は重量約15kg。45の鍵盤はすべて黒。いかつい見た目で力強い音も優しく繊細な音も奏でます。朝ドラ「マッサン」に出演経験もあるアンジェロさん。12/2の夜コンは必見聴!(三宅)



「親子で将棋体験!」から参加しました。将棋は初めてで緊張しましたが、三つの駒だけを扱う「かんたん」将棋でルールを覚えられました。これがなかなか難しいのです! 駒の動かし方、攻めと守り、先を読むことなど考えることがいっぱいでした。集中力が必要だとも思いました。次いで、「美しいお花をいけよう!」。生け花は少しだけ経験があるので記憶をたどりながら挑戦しました。出来栄は、イメージ通り!...とはいきませんでしたが、次第に無心になって、心が落ち着いていくのが分かりました。

「伝統文化」と聞くと、格式とか決まり事とか、敷居が高いように思われがちですが、とても分かりやすく教えてもらえましたし、将棋はゲーム感覚で取り組めました。文フェスは親子で参加できる講座も多く、子どもも大人も楽しめます。古くから続く和文文化からは、学ぶことや発見が多くあり、私がお子さんの頃にも、こうした機会があったらよかったのにと感じました。

かすがい文化フェスティバル2022

~小学生のための夏休み伝統芸能体験~
2022.7.28(木)~8.25(木) @春日井市民会館・文化フォーラム春日井

和太鼓演奏や着物での日本舞踊、水墨画や茶道、囲碁など全12種類の講座を開講。

「お琴にさわってみよう!弾いてみよう!」と 「親子で囲碁体験!」に参加した

今井智也さん(小学6年生)

これまでもいろいろな講座に挑戦してきました。お琴は前からやってみたいと思っていたので、実際に弾けて楽しかったし、家ではできないことができて嬉しいです。



「自分でゆかたを着てみよう!」に参加した 小原舞香さん(小学6年生)・穂香さん(小学3年生)

前にも着たことはあったけど、本格的なゆかたは初めて。難しいところは教えてもらえたし、かわいく着られたかな? お母さんも一緒にできて楽しかった。



やってきました!
体験レポート

今回は、かすがい「人・夢創り」文化スポーツ大使でフルート奏者の林里紗さんが、「かすがい文化フェスティバル2022」をレポートする特別編。
夏休みの小学生といっしょに、将棋や華道に挑戦しました。

RISA HAYASHI



生命を
カタチに

あの人と、
春日井と

上山明子 乾漆彫刻家

力強さに
魅了され

春日井市内の緑豊かな住宅街。周囲の住宅とは趣を異にする近代的な外観の建物の中で創作は行われている。創られているのは乾漆彫刻。「漆独特の質感が醸し出す深い落ち着きが魅力。古くから続く東洋独自の漆文化を守り伝えるのはもちろん、いまの感性を加えて進化させたい」と上山さん。

粘土で作った型に麻布を貼り重ねる。麻布が固まったら型を抜いて漆を塗り重ねて形作っていく。「光の当たり具合、あらゆる角度からの見え方にまで神経を使うので、なにより根気が必要」。大作の場合、幾度となく俯瞰や仰視を重ね、完成までに大きく靴底を減らすことも。7、8世紀にかけて仏像制作などに多く見られた乾漆彫刻。奈良・興福寺の阿修羅像や唐招提寺の

鑑真和上坐像を中学の美術の教科書で見た時、静寂に潜む凛とした力強さに魅了された。大学で本格的に乾漆彫刻の道へ進み、大学院では「仏像の保存修理にも携わり乾漆技法を学ぶなかで日本の造形美を再認識した」

原点は
砂場遊び

子どもの頃から立体に興味があった。「みんながブランコなどの遊具で遊んでいても、山やトンネルを作って水をためたり、「カタチあるもの」を作るのが大好き」。母の薦めで市内の造形教室の扉をたたき、木彫に夢中になった時期もあった。上山さんが乾漆彫刻を続けるのは、作品が軽量なことも理由のひとつ。大型石彫の場合、「重さは1tを超えて運搬にはトラックが必要。重量がかさむので、彫刻の世界は男性作家が多い。でも、乾漆

彫刻は中が空洞なので、女性でも自分の背丈より大きな作品を持ち上げることができ、制作に制限が少ない」。結婚、出産、子育てなどでやむなく離れてしまう女性芸術家もいるなか、子育て中でも制作した。「私の場合、離れる理由は見当たらなかった。続けることで自分が自分でいられるという思いが強かった」



すべてに始まりと
終わりがあ

「すべてのものには始まりと終わりがあると実感した。でも、心は悲しみに暮れていても体は徐々に治ろうとし始めた。奥底から湧き上がる命のエネルギーの強さに心が打ち震えた」。以来、「いのちあるカタチ」をテーマに制作する「origin」シリーズでは、ベースとなる型に粘土を投げつけて重ねていく。イメージと偶然から生まれるカタチを基に成形して、手法は、純粹にものを作る楽しみと興奮に満ちている。作ることをひたすらに楽しむ童心とも重なる。美術の楽しさを造形で伝えたくて、美

術教育の知識や技法を保育士や幼稚園教諭を目指す学生たちに教えてもいる。「生命の輝きは宇宙の一瞬のきらめきかもしれないけど、そんな小さな命の喜びや儚さ、力強さを漆の素材や古典技法で表現したい。それが、生かされた私の使命かもしれない」と静かに前を向く。「いのちあるカタチ」の探求は続く。

春日井市出身。愛知県立芸術大学大学院（彫刻専攻）修了。東京藝術大学大学院研究生（芸術学）修了。「いのちあるカタチを求めて」「上山明子乾漆彫刻展」など全国各地で個展を開催。2018年名古屋市長賞奨励賞受賞。小田原短期大学特任講師。



上山明子
Ueyama Akiko

フィルム

上山明子と、春日井と「グルッポふじとう」

年5回、学生たちと「なないろクレヨン隊」として、幼児から小学生を対象に造形講座を開いています。子どもたちの素直な反応、生き生きとした表情に出会えて、とても貴重な体験をさせてくれる場所です。



お知らせ

上山明子さんが講師！

みんなの美術部

漆の魅力を知って、
乾漆ブローチを作ろう！

2023.2.11(土・祝)



詳しくはQRコードから

チケット予約・購入

3つの方法が選べます



窓口

文化フォーラム春日井2階・文化情報プラザ

(休館日を除く、9:30~17:15)

春日井市東部市民センター2階・事務室

(12/29~1/3を除く、9:30~12:00、13:00~17:00)



電話

0568-85-6868 9:00~21:30

友の会PiPi専用

0568-85-6078 9:00~17:00



WEB

パソコンやスマホから、
かんたんアクセス

予約

www.kasugai-bunka.jp

にアクセス。

※事前のWeb会員登録(無料)が必要です。

※PiPi会員はIDとパスワードでログインできます。

支払

- 文化フォーラム春日井2階・文化情報プラザ
- 春日井市東部市民センター2階・事務室
- セブン-イレブン(※手数料あり)
- クレジットカード決済

発券

- 文化フォーラム春日井2階・文化情報プラザ
- 春日井市東部市民センター2階・事務室
- セブン-イレブン(※手数料あり)
- 配送(※手数料あり)

学生の特券

厳選された幅広いジャンルの公演や展覧会を、
小中高生に低価格で楽しんでいただけるサポ-
ト制度。詳細は文化財団のホームページへ。



文化フォーラム春日井 春日井市民会館

公益財団法人かすがい市民文化財団

TEL:0568-85-6868

〒486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44

FOLLOW US

かすがい市民文化財団の公式アカウントです。



@kasugai_bunka



@477kdncp

【休館日】

月曜日(祝休日の場合は翌平日)

12/29~1/3

【かすがい市民文化財団HP】

www.kasugai-bunka.jp



ACCESS 交通のご案内

JR中央本線「春日井駅」北口より

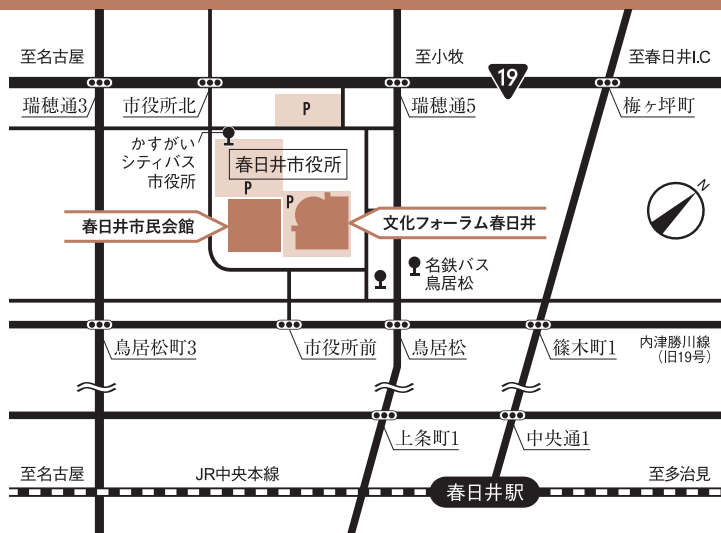
- ・名鉄バス「鳥居松」下車すぐ
- ・徒歩20分
- ・無料レンタサイクル5分(日・祝休み)

かすがいシティバスでお越しの方

- ・「市役所」下車すぐ

駐車場は混雑が予想されます。

なるべく公共交通機関や
乗合せをご利用ください。



新型コロナウイルス感染症の感染状況によって
イベント内容が変更になる場合があります。

最新情報はかすがい市民文化財団のホームページでご確認ください。



公益財団法人

かすがい市民文化財団